



## 課題／問題

- 炭素クレジットのグローバル市場は分裂し、非効率で複雑であり、また不透明でもある。
- 既存のソリューションは包括的でも、安全でも、分散型でもない。

## 解決案

- 気候危機に協調して取り組む。
- Climate Warehouse：グローバルな炭素取引の透明性を高め、整合性を担保するための基本アーキテクチャー
- カーボン・オポチュニティーズ・ファンド：高品質で認証された炭素クレジットを調達、トークン化、販売する革新的なモデルのための民間投資を呼び込むグローバルなGX投資プラットフォーム

創立年	2017年
ウェブサイト	<a href="http://chia.net">http://chia.net</a>
本社所在地	サンフランシスコ（米国）
従業員数	80名
調達ステージ	シリーズ A B C <b>(D)</b>
海外市場経験	世界規模での経験
注目点	<ul style="list-style-type: none"><li>➢ ビットレントの開発者ブラム・コーエンにより創設</li><li>➢ 安全で持続的、かつ規制に準拠した唯一の完全な分散型ブロックチェーン</li><li>➢ 2009年のビットコイン以来初めての新たなナカモト・コンセンサス</li></ul>

## 競争優位性：

- 多国籍企業、政府、大手機関投資家からの獲得している信頼
- 規制遵守を念頭に置いた企業体制の構築
- 公開会社会計監視委員会（PCAOB）登録の会計事務所であるArmanino LLPによる独立した年次監査を受けており、十分な財務監査環境が整っている。

## 希望する協業先／提携先：

- GX戦略に重点を置く企業
- グリーンファイナンスに関心を持つ金融機関
- Web3.0、メタバース企業

## 今後の事業計画：

- グローバルな炭素市場インフラの10%を占める。
- 1933年証券法に従い、ナスダックまたはニューヨーク証券取引所で公開会社となる。
- Web3、メタバース戦略